

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

|   |         |   |
|---|---------|---|
| 1 | 施設名     | 仙台市子育てふれあいプラザ長町南  |
| 2 | 指定管理者   | 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ  |
| 3 | 指定期間    | 平成31年4月1日～令和6年3月31日   |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》 58,678人（前年度比79.9%）<br/>         内訳 ひろば利用者 56,772人 託児利用者 1,906人<br/>         ※視察等の利用者 939人<br/>         平成28年度 79,707人 平成29年度 75,355人 平成30年度 73,471人</p> <p>《事業》<br/>         子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p> |
| 5 | 収支の状況   | <p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 23,000千円 (22,242千円)</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 4,117千円 ( 4,736千円)</p> <p>・ その他収入 174千円 ( 206千円)</p> <p>( )は前年度決算額</p>   |
| 6 | 利用者の声   | <p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見箱「聞かせてBOX」の設置</li> <li>イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施</li> </ul>   |

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野           | 所見  | 評価    |
|----------------|---|-------|
| I 総則           | 子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者<br>に周知している。<br>利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心して<br>できるまちの実現に大きく貢献している。  | 21/21 |
| II 施設の運営管理体制   | 各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化さ<br>れている。<br>個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取<br>組がなされている。   | 29/29 |
| III 施設・設備の維持管理 | 乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破<br>損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者<br>が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。   | 18/18 |
| IV サービスの質の向上   | 各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置<br>など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛<br>けている。<br>職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を<br>図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準      | 子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把<br>握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一<br>時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。   | 9/9   |

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（特定非営利活動法人 ワーカーズコープ）による自己評価》

のびすく長町南は、10周年という記念すべき年を迎え、多くの利用者の方や、地域の方々に支えられ、10年という長い期間、指定管理者として運営できたことに誇りと感謝の気持ちを新たに、今後も地域の子育てに関わる方々を支援し、子どもたちの笑顔を守り、保護者の皆さんの憩いの場でありたいという気持ちを再認識できた一年となった。

『のびすく長町南10周年感謝祭』と銘打って開催したイベントは、一週間にわたり、仙台市子育て支援者交流会で知り合った講師の方をお迎えし、腹話術を披露してもらった。地域の民生委員児童委員さんや児童館職員が集まり、ハロウィンパーティーを開催し、多くの支援者や利用者さんと盛大に祝うことができた。ララガーデンにも協力をお願いし、チラシの掲示や施設内を練り歩く仮装パレードなども行なうことが出来た。

また今年度は、地域との連携に力を注ぎ、いままで交流の少なかった地域とも繋がることができた。「出前のびすく」として秋保地区の湯元児童館、西多賀児童館、東宮城野児童館に職員が出向き、その地域の親子や施設職員たちとの交流を実現することが出来た。新しい繋がりを持ったことで、今後の活動に大きく広がりができたと感じている。

今年度は託児、ひろば共に、前年よりも利用者が減少した。今まで名取地区の利用者も多かったが、同地区の大型商業施設内にひろばができ、そちらに利用者が流れたことも要因の一つと考えられる。

次年度に向けて、相談事業の補助員を増員し、託児室にも配置できるようになった。一時預かりを利用する方にも支援の手を伸ばせるようになり、ひろばと託児の双方からより一層の支援ができる体制が整った。今後は食育や読み聞かせなど、職員個々のスキルを活かしたイベントも積極的に取り入れ、働く私たちのモチベーションや資質の向上にも努め、10年を支えてくれた地域や利用者へ還元していきたいと考えている。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

ひろば事業では、のびすく(子育てふれあいプラザ等)の中で最もひろばの利用者数が多い中、職員同士で年度当初に館のローグを立て、利用者親子が安心して来館し、安全に居心地よく過ごすことができよう丁寧に接する中で、利用者の高い満足度と安定した継続利用につなげている。

また、「出張！じどうかん」や「出前！のびすく」など近隣の児童館や、「太白区ウェルカムパーティー」など地域の支援機関との連携したイベント事業等を通じ、地域の子育て支援者との連携にも積極的に取り組んでいる。

一時預かり事業では、一日を通した預かりを利用する方も多く、利用者の安心安全に預けたいという希望に応えるための受け皿機能を果たしていると同時に、職員が積極的に研修やスキルアップ講座に参加し質の向上に取り組むなど、安心して過ごせる環境整備に努めた。

#### 総合評価

S

### 四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課